

解答

一

- 問一 a ウ b エ
問二 イ
問三 おしゃれは身だしなみの一部
問四 エ
問五 I 男子みたいな服
II 二人の弟たちにお下がりをお上げるため。
問六 I みんなの中にある、元気で活発な女の子という自分のイメージを損なってがっかりされたくないため。
かわいらしい 2 いいちゃんに似合っていた
問七 オ
問八 イ

二

- 問一 a オ b ウ
問二 A エ B オ
問三 C ウ D ア E オ
問四 I 情報整理 II 自分自身の記憶のようなもの
問五 ア
問六 目の前に存在している映像の矛盾や不自然さ
問七 ある程度長さがあつて、さし絵だらけでない本
問八 ひとつひと
問九 イ

三

- 問一 ① 往来 ② 口外 ③ 細心 ④ 参政 ⑤ 出版 ⑥ 総意 ⑦ 心機
⑧ ちゅうさい ⑨ かくいつ ⑩ しんく
問二 ① 公〔転〕 ② 可〔決〕 ③ 美〔点〕 ④ 意〔外〕
問三 エ

解説

一

- 問三 ——線部①の前にある、瑠璃羽ちゃんのスピーチに着目します。「つまり、」ではじまる一文に主張がまとめられているので「おしゃれは身だしなみの一部」をぬき出します。
問八 本文の後半に着目します。しいちゃんは「瑠璃羽が言っていたこと、正しいよね。」と認め、負けおしみを言った自分をカッコわるいと思っています。自分の服に落ち込むしいちゃんの格好をほめても、励ましにならないことから、選択肢イが選べます。

二

- 問六 ——線部③を含む一文では、さまざまな感覚や心情にも及ぶ高度な想像力をきたえておけば、ごまかしやずさんな計画などがおかしいことに気づく力につながると述べています。目の前に存在している映像の矛盾や不自然さに気づくためには、しっかりときたえ上げられた思考力や想像力が必要であると説明しているので、具体的に言いかえた表現は「目の前に存在している映像の矛盾や不自然さ」の部分になります。
問九 〈3〉〈4〉段落に着目すると、描写が厚みのあるものになっていくにつれて、主人公や語り手の複雑な心情が、自分自身の思いのように心にのしかかってきたりすることがわかります。また、情報整理をする思考力、自分自身の記憶のようなものへと変換する想像力が働き、記憶力もきたえられていると述べていることから、選択肢イが正しいことがわかります。